

「材料の科学と工学」誌テクニカルレポート投稿原稿の見本

材料太郎*, †材料次郎*, 材料三郎**, 材料四郎*

A Sample of Manuscript of Technical Report to Journal of the Materials Science Society of Japan

by

Taro Zairyo*, †Jiro Zairyo*, Saburo Zairyo** and Shiro Zairyo*

(Received xxx xx, xxxx; Accepted xxx xx, xxxx)

要約

字数は150字を目安とし、テクニカルレポートの内容を要約して明確に述べて下さい。要約は1段組とし1行に54文字、行間隔は1ページに44行です。文字の大きさは8ポイント、アルファベットおよび数字は半角英数字を使用して下さい。句読点は全角の「、」と「。」を使用して下さい。要約の最下段には5語以内の日本語のキーワードを記載して下さい。

キーワード: 材料, 科学, 実験, 解析

1. 緒言

この見本は、「テクニカルレポート」用のものです。

原稿の書き方は、本投稿規定に従って下さい。この見本に上書きして頂くと、投稿規定に従うようになっておりますので、そのようにお使い頂いても構いません。なお、別ファイルで作成した文章等をこの見本にペースト（貼り付け）する際は、元の文章をコピーした後、テキスト形式でペースト（編集→形式を選択して貼り付け→テキスト→OK）して下さい。普通にコピー&ペーストすると、元の書式ごとコピーされるので、この見本の書式に従わなくなります。

原稿はA4サイズ（297×210mm）であり、上下の余白は27mm、左右の余白は18mmです。第1ページは1段組で以

下の順に記入します。

- ①和文題目(MS ゴシック, 14ポイント)
- ②和文著者名(MS ゴシック, 12ポイント)
- ③英文題目(Times New Roman(注)の太字, 14ポイント)
- ④英文著者名 (Times New Roman(注)の太字, 12ポイント)
- ⑤和文要旨(MS 明朝または平成明朝, 8ポイント)
- ⑥キーワード(MS ゴシック, 8ポイント)

1ページ目の左の最下段には本文との間に線を入れて、著者の所属と所在地、その英語表記、さらに連絡先をそれぞれ8ポイントで記載して下さい。なお、連絡先(TEL, FAX番号およびE-mailアドレス)は差し支えない方のみ記載してください。著者が複数名の場合、著者の所属と所在地は「*, **」で和文および英文著者名と対応させて記述し、筆頭著者と連絡先が異なる場合には、代表連絡者の著者名先頭に「†」を付けて下さい。

要約の字数は150字を目安とし、テクニカルレポートの内容を要約して明確に述べて下さい。要約は1段組とし1行に54文字、行間隔は1ページに44行です。要約の最下段には5語以内の日本語のキーワードを記載して下さい。

規定ページ数は、2ページです。規定ページ数を越えることはできません。ここまでは、規定を厳守願います。

令和 年 月 日受付

* 東京工業大学大学院理工学研究科化学工学専攻: 東京都目黒区大岡山 2-12-1

TEL 03-xxxx-xxxx FAX 03-xxxx-xxxx

xxxxx@xxxxx.xxxxx.ac.jp

Department of Chemical Engineering, Tokyo Institute of Technology: 2-12-1 O-okayama, Meguro-ku, Tokyo 152-8552, Japan

** 株式会社裳華房材料研究所: 東京都千代田区四番町 8-1
Materials Research Laboratory, Shokabo, Ltd: 8-1 Yonban-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0081, Japan

†: 連絡先/Corresponding author

2. 本文について

2.1 レイアウトについて

本文は1段組または2段組等、段組は自由です。1ページに44行程度になるようにして下さい。文字の大きさは9ポイント、フォントは「MS明朝」または「平成明朝」を使用して下さい。半角英数字は、「Times New Roman(注)」を使用して下さい。本文中のアルファベットおよび数字は半角英数字を使用して下さい。句読点は全角の「、」と「。」を使用して下さい。「、」と「。」は使用しないで下さい。文献は、通し番号の肩書きありあるいは^{2),3),6)~8)}とし、本文末尾に文献の一覧を記載して下さい。この見本の文末にサンプルがありますので、そちらを参照して下さい。

3. 見出しについて

見出しは10ポイントのMSゴシックを使用して下さい。半角英数字はTimes New Roman(注)を使用して下さい。見出しの前に1行の空行をとって下さい。

3.1 小見出しについて

小見出しは9ポイントのMSゴシックを使用して下さい。半角英数字はTimes New Roman(注)を使用して下さい。小見出しの前は空行をとらないで下さい。

3.2 小見出しが2行以上になる場合には、2行目の頭出しをそろえて下さい

小見出しよりもさらに細かく分類(3.2.1, 3.2.2など)しても構いません。小見出しと同じ方法で記して下さい。

4. 図(写真を含む)および表について

図および表については、「研究論文・ノートなど」の原稿見本を参考にしてください。

5. 図・表についてその他の注意事項

図および表については、「研究論文・ノートなど」の原稿見本を参考にしてください。

6. それ以外の注意事項

6.1 数式等について

数式などを挿入する場合も、図の挿入と同様に「直接貼り付ける方法」と「本文に空白を設け別データで提出する方法」のいずれかをお願いします。数式のサンプルを下に

この行は1段組になっています。提出の際には文字のみ削除してください。この行は最終行になります。

示します。数式には、(1), (2),...などの通し番号をつけて下さい。

$$-\frac{dM}{dt} = kC^{\alpha}M^{\beta} \quad (1)$$

6.2 原稿の保存方法について

モノクロ印刷を希望の場合、原稿中の図表もモノクロとして下さい。グレースケールで保存された場合、お送り頂いた原稿よりも黒く印刷されることに留意して下さい。

6.3 投稿後の流れについて

投稿されたテクニカルレポートは論文的査読は行いませんが、掲載に当たり書式、内容の確認は行います。その後、印刷所に送られて、学会誌として印刷されます。投稿時に「直接原稿」で頂いておりますので、著者校正はありません。万一、修正すべき箇所が発見された場合には、速やかに編集委員会にご連絡下さい。ただし、印刷スケジュールの関係で、修正が不可能な場合もありますので、原稿提出時に十分ご確認下さい。

7. 結言

簡潔かつ明瞭に結論を述べて下さい。本文中に記載されていないことを結言に記さないで下さい。

謝 辞

謝辞がある場合には、結言のすぐ後に記載して下さい。

参考文献

- 1) 伊部歩, 海部宏昌, 奥村次徳, 西田勲夫: 材料科学, **37**, 91 (2000)
- 2) 中野太郎: X線解析, 裳華房, 115 (1967)
(注)Times New Roman が使用できない場合のみ Century でも可
- 3) C. H. Townes and J. Bardeen, Phys. Rev., **165**, 71 (1968)

最終ページは、左右の段がほぼ同じ行で終わるようにして下さい。このサンプルは、自動的に左右の段がほぼ同じ行で終わるようになっております。